

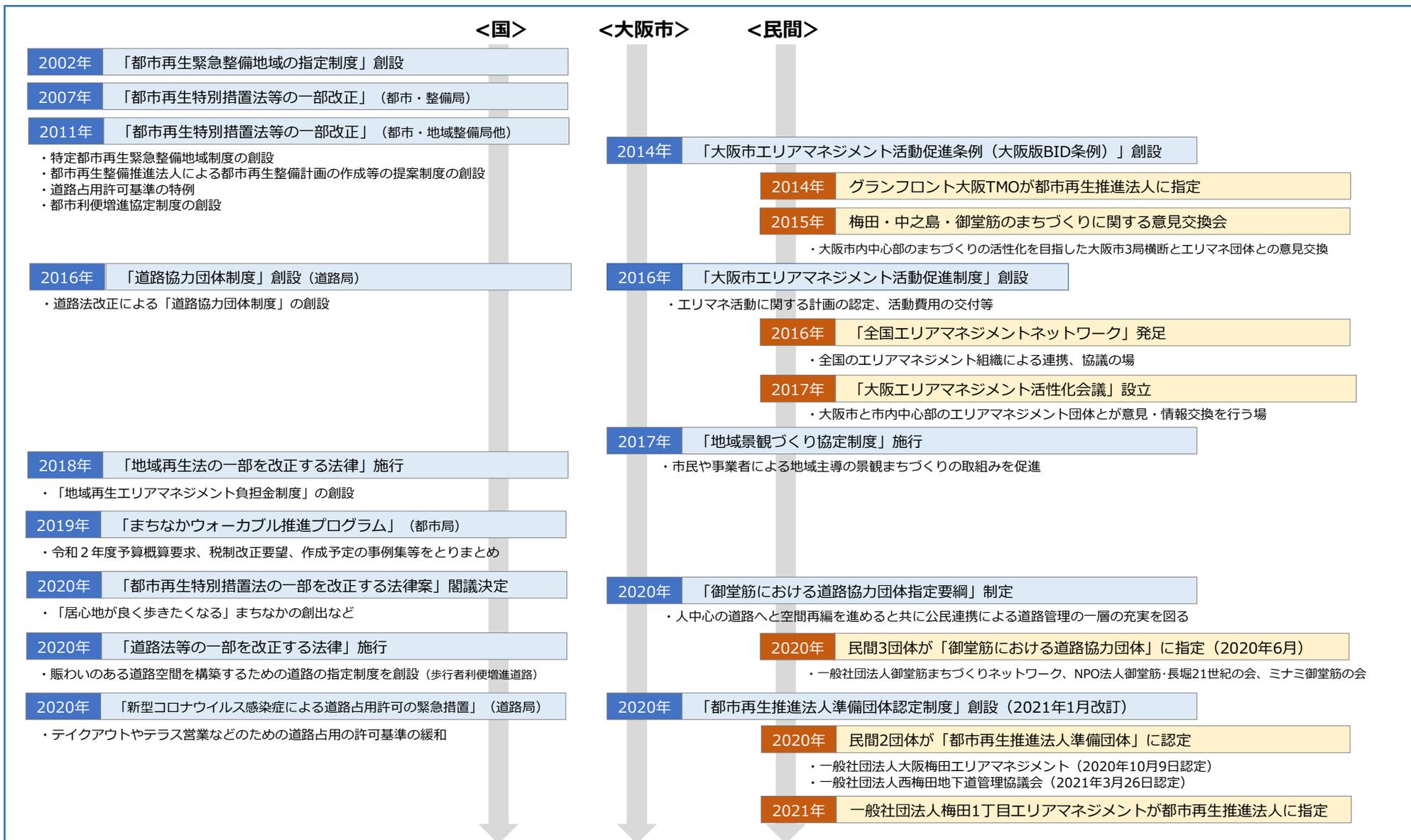
「大阪都心全体の価値向上に向けて」

～選ばれる大阪・期待される大阪を目指した「まちづくり～まち育て」に向けて～

2022年11月18日

大阪都心のまちづくり活動勉強会

2002年に国により創設された「都市再生緊急整備地域の指定制度」による特別措置法をきっかけに、多くの都市で官民それぞれの役割を活かしたまちづくりの活発化が進んできた。**大阪も都心部では多くのエリアマネジメント団体が発足し**、都市の経営や運営にも継続的に取組みながら、公共との連携や協働により**大阪都心部の価値向上**への新たな民間参加の仕組みや枠組みも進んでいる。



2017年1月 「大阪エリアマネジメント活性化会議」設立

エリアマネジメント活動に取り組む大阪都心部の民間8団体と大阪市により設立

大阪の資産価値向上と経済活性化のため、官民による新たな公益性の創出、都市プロモーション活性化、安全安心のための情報ネットワークの構築、観光地域まちづくりの推進など、実現性の高い仕組みづくりによる官民協働の都市経営の推進を目的として設立。

<活動内容>

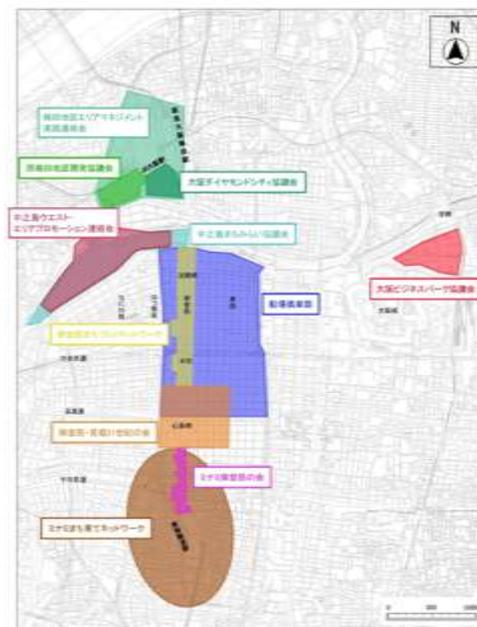
- 各エリアマネジメント団体の活動計画及び報告などの交流促進
- 「大阪エリアマネジメント活性化ガイドライン」の充実

<構成>

【会員（順不同・敬称略）】※2022年11月1日現在11団体

- （座長）大阪府立大学特別教授 橋爪紳也 ・梅田地区エリアマネジメント実践連絡会
- 大阪ダイヤモンドシティ協議会 ・西梅田地区開発協議会 ・一般社団法人中之島まちみらい協議会
- 中之島ウエスト・エリアプロモーション連絡会 ・一般社団法人御堂筋まちづくりネットワーク
- NPO法人御堂筋・長堀21世紀の会 ・ミナミまち育てネットワーク ・一般社団人大阪ビジネスパーク協議会
- 船場倶楽部 ・一般社団法人ミナミ御堂筋の会

【事務局】大阪市・公益財団法人都市活力研究所



※大阪市HPより

2020年4月 「大阪エリアマネジメント活性化ガイドライン」策定

<概要> ○大阪都心部の民間8団体それぞれの取組みをとりまとめ

- 特色あるエリアマネジメント活動の取組み ・エリアブランドを高めるルールづくり
- 大阪エリアマネジメント活性化アクションプログラムの取組み ・今後のエリアマネジメント活動の推進に向けて

○大阪市の支援制度等

- 大阪市エリアマネジメント活動促進制度 ・都市再生推進法人準備団体の認定等に関する要綱 ・公開空地等の占用について

<2021年4月> 「大阪エリアマネジメント活性化ガイドライン」を活用した 大阪都心のまちづくりの実践（継続と発展）に向けた民間の勉強会発足

これまで培われてきたまちづくり活性化のための環境を活かし、2025年の大阪・関西万博、2031年予定のなにわ筋線開通などの大きな発展的転換期をに向けて、大阪都心の各エリアの個性を活かしながらも、大阪ならではの都心としての価値と質の向上を目指し、大阪都心部でまちづくり活動の事務局や幹事を担っている企業や団体が集まり勉強会を発足。大阪都心の魅力向上に必要である民力を活かしてまちを育てるため、官と民の魅力を活かした「官民共創スタイル」の実現を目指し、新たなスキームや民による公益の在り方などについての意見交換や将来像の策定や共有に取り組んでいる。

大阪都心のまちづくり 活動勉強会 (順不同)

- | | |
|-----------|--|
| 【座長】 | 橋爪紳也（大阪公立大学特別教授） |
| 【参加企業・団体】 | 大阪ガス株式会社、大阪市高速電気軌道株式会社、株式会社大林組、関西電力株式会社、近鉄不動産株式会社、株式会社竹中工務店、南海電気鉄道株式会社、西日本旅客鉄道株式会社、阪急阪神不動産株式会社、三井不動産株式会社、一般社団人大阪まちづくり協議会 |
| 【参加経済団体】 | 大阪商工会議所・関西経済連合会・関西経済同友会 |
| 【事務局】 | 一般社団人大阪まちづくり協議会 |
| | 代表理事 橋爪紳也（大阪公立大学特別教授） |
| | 代表理事 岡智恵子（㈱ケーファ代表取締役・（公財）都市活力研究所客員研究員） |

急激な社会環境の変化や、企業のあり方や働き方改革が進み個人のワークライフバランスが見直される中、大阪が持続的な発展を遂げ世界各国から選ばれる・選ばれ続ける都市となるためには、**国際競争力の強化が不可欠**である。

<社会的背景>

グローバル社会の進展と近年の社会環境の変化

行政によるまちづくり方針等

- ・「将来ビジョン・大阪」（平成20年12月策定）
- ・「ランドデザイン・大阪」（平成24年6月策定・改訂作業中）
- ・「大阪の成長戦略」（平成30年3月改訂）
- ・「大阪の再生・成長に向けた新戦略」（令和2年12月策定）
- ・「大阪 都市計画区域の整備、開発及び保全の方針」（都市計画区域マスタープラン）」（令和2年10月）
- ・「大阪都市魅力創造戦略2025」（令和3年3月） など

コロナ禍による経営及び生活の変化

> 健全な時間と空間

ICTによる情報格差（デジタルデバイド）

> 地域間や個人間等の分断

大阪の公示価格の低下

> インバウンド依存

防災減災の強化

> 自然災害の頻発・激甚化

サステナビリティ

（持続可能性）への取組

大阪都心における 民間による“新しい公共”としての公益的な役割

- ・エリアマネジメント団体によるまちづくり活動の実践
- ・各エリアにおける民間開発等を活用したまちづくり活動の推進
- ・各エリアにおけるまちの将来像の策定
- ・各エリアにおける官民連携によるまちづくりの推進
- ・各エリアにおける将来像に向けた社会実験の実施 など

2025年大阪・関西万博や2031年のなにわ筋線開通（予定）などの大きな発展的転換期

国際競争力のある圏域としての大阪の持続的な発展

大阪全体のパイの拡大・資産価値の向上・国内外からの投資の誘発・新たなスタートアップの創出・国内外の企業進出など

各所の個性を活かし
魅力をつなぐ

企業の成長性を促す
イノベーション環境を育む

世界へ打ち出す
スケールでの魅力発信

訪れる～触れ合う～気づく
来街者の満足感を高める

安全安心の向上

“場”が人を育て、人が“場”をつくる循環づくり＝「P・A・R・Kな大阪都心」の推進が必要

（新しいことへの挑戦を可能とする未来志向の場づくり）

国際競争力の強化に向けた「P・A・R・Kな大阪都心」の推進

国際競争力のある圏域としての大阪の持続的な発展に向けては、行政、民間企業、関西経済3団体におけるこれまでの取り組みやエリアマネジメント活動など「P・A・R・Kな大阪都心」の実現に向けた活動を、更に推進・発展させていく必要がある。



官（行政）と民（企業や経済団体）とが共に大阪の総合力を活かした
大阪ならではの官民共創スタイル
=大阪の都市経営モデルの創出=



地域をつなぎコミュニティを育む

人の創造性や発想性を高める

各エリアの魅力向上と
更なる活動の活性化

気づきと発見を生み出す

人と人の出会いを誘発する

大阪都心の活力が
大阪府下・関西全域へと波及

国際競争力の強化に向けた

「P・A・R・Kな大阪都心」の推進

Public/Private Area/Activity Relation/Resource Knowledge/Kindness

人々にとっての公園（PARK）は、地域をつなぎコミュニティを育み、人々の創造性を高め自己啓発を促し、健康を促進するなど多くの価値や魅力を有する。それは緑に囲まれた自然豊かな空間が持つ力であり、官民が一体となって「PARKな大阪都心」を実現することにより、人や企業の成長を促す空間（自分を見つめる、人と触れ合う、創作意欲を刺激するなど、未来志向な空間）と時間の創出を目指すものである。

Public/Private

公共地や公開空地などまちの共用部（コモンエリア）において、大阪ならではの官民共創によるまちづくり～まち育て活動の推進による誰もが居心地の良い大阪都心

Area/Activity

大阪都心の各エリアの個性や魅力を活かしながらもお互いに切磋琢磨しながら、各エリアにおいて様々な活動が生み出される大阪都心

Relation/Resource

人と人の関わりや人とまちとの関わりなど、既存の資源を有効に活用しながら、様々な関係性が生み出される大阪都心

Knowledge/Kindness

最先端の技術による利便性の提供や、おもてなしの気持ちに溢れた環境の提供による誰もが安心して訪れ安全に滞在することができる快適な大阪都心

「P・A・R・Kな大阪都心」の推進による大阪の国際競争力強化

地域をつなぎコミュニティを育む

人の創造性や発想性を高める

「P・A・R・Kな大阪都心」 ※イメージ

気づきと発見を生み出す

人と人の出会いを誘発する

Public/Private

地上・地下・デッキが繋がる**ウォークアブル**なまち※うめきた2期地区開発プロジェクト
公式ホームページより※Walkable UMEDA 構想
(仮称) 梅田にぎわい軸 (大阪北一号线)

Area/Activity

都会の中に**広場**があるまち

※なんば広場改造計画



※JR大阪駅南側広場 (歩道拡幅)

※中之島通の歩行者空間化
(公園化)※天王寺公園エントランスエリア
「てんしば」

※検討中



Relation/Resource

働く・住む・訪れるが融合したまち※2021年度社会実験
「高麗橋ストリートパーク2021 簡易歩車分離施設によるシェアスペース」※2022年度社会実験 (調整中)
「通過交通を抑制したカーサイドマネジメント」

Public/Private

世界最新モデルとなる、人中心のストリート

※御堂筋未来ビジョン

※御堂筋パークレット
(御堂筋まちづくりネットワークHPより)

Knowledge/Kindness

大阪を一望できるまち

※あべのハルカス

Area/Activity

エンタメとステイのまち

※「エンタメ」と「ステイ」のかで都市格を高めるビジョン」より

※新今宮エリアブランド基本戦略
(令和3年3月・大阪市) より

Public/Private

Relation/Resource

水の都・大阪を体感できるまち

※道頓堀 (とんぼりリバーウォーク)



※中之島エリア



※東横堀川



大阪らしい魅力の再構築 (ブラッシュアップ)

<古くから大阪が持っているポテンシャル>

地の利の良さ

安全なまち

独自性のある風景

人と人の活発な交流

様々な文化の集積

物流・商業の中心地

大阪が持つポテンシャルにより、色々な地域から人や文化を受け入れながら独自の文化を生み出し、

「交流性・創造性・発展性・可能性」のもとに独自の発展を遂げてきた大阪。

大阪の発展を支えてきた「交流性・創造性・発展性・可能性」に溢れた大阪らしい魅力を更に際立たせることが必要。

大阪・関西万博を好機とした各エリアの魅力を活かす“大阪ならではの官民共創”

2025年に開催される大阪・関西万博では、世界150ヶ国の国々からの方々をお迎えすることを好機ととらえ、大阪の国際競争力の強化を目的として、これまで培ってきたエリアマネジメント活動の成果を活かした個性ある大阪の打ち出しが重要。そのためには、各エリアの魅力を活かした大阪ならではの官民共創の実践が求められる。これまでのエリアマネジメント活動の関係者でもある地権者に加え、エリア内の受益者にも関わっていただきながらエリアの魅力を面的にとらえて、新たな魅力の創出となるコンテンツイノベーションや、魅力の商品化（パッケージ化）などのエリアプラットフォームとなる推進エンジンも必要となる。大阪・関西万博では、こういった活動の活性化に鑑み、まち育てのための仕組みづくりとその実践に取り組むことで、将来的なエリアマネジメントの活動の活性化を図ることが必要と考えられる。

2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）

最先端技術など世界の英知が結集し
新たなアイデアを創造発信

国内外から投資拡大

交流活性化による
イノベーション創出

地域経済の活性化や
中小企業の活性化

豊かな日本文化の
発信のチャンス

大阪都市魅力創造戦略2025

国際都市大阪にふさわしい賑わいを作り出し
活力を高めていくための方向性を示す

多様な主体が連携し大阪全体を活性化

- 安全で安心して滞在できる24時間おもてなし都市
- ③持続可能な観光都市の推進
 - ・観光地域づくり法人（DMO）の推進、専門人材の育成・活用
4. 世界水準のMICE都市
 - ①MICE戦略の策定
 - ②MICE誘致の推進
 - ③専門人材の育成

各エリア内の地権者や受益者などが
中心となったエリアDMO等

※DMOとは（観光地域づくり法人）

地域の「稼ぐ力」を引き出すとともに地域への誇りと愛着を醸成する「観光地経営」の視点に立った観光地域づくりの舵取り役として、多様な関係者と協働しながら、明確なコンセプトに基づいた観光地域づくりを実現するための戦略を策定するとともに、戦略を着実に実施するための調整機能を備えた法人。

大阪と世界をつなぐ

大阪ならではの官民共創スタイル

大阪府・大阪市

関西経済連合会・大阪商工会議所・関西経済同友会

これまでの実績
【エリアマネジメント活動】

新たに強化が必要
【エリアDMO等の活動】

各エリアの資産価値向上を
目指した民間主体の
まちづくり活動

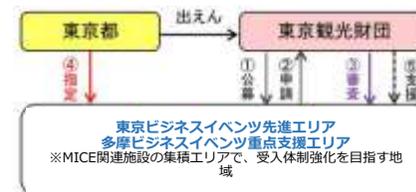
各エリアの魅力を活かした
新たなコンテンツ創出や商品化
また情報発信等に取り組む

2025年大阪・関西万博を契機とした

オール大阪の取組＝イノベーションの成功事例づくり
エリアMICE活動の活性化と推進エンジンの強化

※エリアMICE活性化の参考事例

東京での取組 ※東京都等のサイト掲載情報から作成
東京都（産業労働局観光部）及び（公財）東京観光財団は、ホテル、会議展示施設、商業施設、飲食店、文化施設及び歴史的建造物等、地域の関連施設が一体となったMICE拠点を育成・支援。



【支援内容】

・財政支援※・MICE情報・ノウハウの提供 等
※3年間（多摩は4年間）上限年1000万円 1/2補助

【支援実績】

- ①大手町・丸の内・有楽町、
- ②赤坂・麻布・六本木、③臨海副都心、④日本橋・八重洲⑤品川・田町・芝・高輪・白金・港南、⑥渋谷、⑦浜松町・竹芝・芝浦、⑧八王子、⑨立川

Tokyo
MICE Hubs

※東京観光財団の
サイトで支援9
エリアを紹介

大阪・関西万博で取り組む「エリアMICE」活動（案）

■大阪版エリアMICE-HUBsの推進

○エリアMICE活性化のための情報発信

各エリア内の地権者や受益者などが中心となったエリアDMO等の組織をプラットフォームとして持続する仕組みをつくり、それぞれの得意性や独自性を活かし、民間が持つ施設や公共空間などを対象としたMICEに資する商品造成や情報発信などを図る

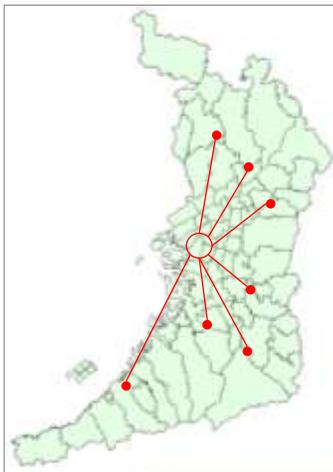


<例・案>

- ①各エリアの会議施設や宿泊や飲食施設を束ねて一体的に打ち出し、擬似的に大きなMICE施設として展開
※プラットフォームにてスケジュールや内容を調整
⇒各施設情報の集約とパッケージ化などに取り組む
- ②各エリアが協働したテーマでのイベント展開を図り、エリア間の回遊促進となる商品造成等に取り組む

○大阪版エリアMICE-HUBsによる府域への広がり

大阪都心のエリアマネジメントにとどまらず、府域で活動するまちづくり活動を行う団体が取り組む大阪ならではの魅力と連携したMICE活動により、大阪が一体となった世界への情報発信を強化。



■大阪シティエキシビションの実施

大阪都心の各エリア、また府域の各所のユニークベニューを活用した各エリア主体がまちなかで展開する展示会。同時時期に開催することで、大阪での滞在の延長や回遊促進を図る。

<例・案>

- ①大阪の“食”をテーマに、大阪各エリアの公共空間を活用した食フェスタ的な展開。全国各地の食材を和食らしく、各地域で育まれてきた食を楽しめるイベント展開
- ②大阪のひかりのまち巡り
水都大阪を筆頭にした光景観をパッケージ化した夜間滞在の推進。大阪・光の饗宴でのエリアプログラム発展版として大阪府域が一体として展開



■国内外からの来訪者に対する安全安心の情報提供（おもてなし）

万博開催時に多くの来訪者が滞在される大阪では、緊急時の情報連絡について危機管理部門とエリアマネジメント団体が協力するなど、リアルタイムで情報伝達ができる仕組みを検討

<例・案>

- ・各エリアの都市再生安全確保計画の横断
- ・エリアを横断した「大阪都心タイムライン（防災行動計画）」の策定
- ・災害弱者を生み出さないための、リアルタイムで情報伝達の検討
- ・情報集約・発信、及び情報と人との交流拠点の整備 等

